

記入例

建築基準法第12条第5項に基づく（工事監理・施工状況）報告書（RC造）中間検査時提出

（あて先） 横須賀市建築主事

〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日

建築確認済証番号	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 第 〇〇〇〇〇 号
建築主氏名	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇
建築場所	神奈川県横須賀市 〇〇1丁目〇〇番〇〇

上記、工事中の建築物の（工事監理・施工状況）に係わる結果を次のとおり報告します。

工事監理資格 (1級) 建築士 (大臣) 登録 第 〇〇〇〇〇〇 号
 氏名 〇〇 〇〇〇
 建築事務所名 (1級) 建築士事務所 (神奈川県) 知事登録第 〇〇〇〇〇〇 号
 〇〇〇〇1級建築士設計事務所
 電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 番

建築確認図書と照合した結果、変更は ありません。
 ありますので、別添「軽微な変更説明書」を添付します。

チェック項目

確認項目	内容	監理者		備考
		結果	指摘番号	
全体	(1)建築物の形状	○		
施工状況	(2)鉄筋の乱れ、踏み荒し、波打ち、たるみの有無	○		
	(3)柱、梁、スラブが設計図書通りに配置されているか	○		
	(4)適正なかぶり厚さがとれているか	×	①	
	(5)型枠中に木片、空缶等のゴミはないか	○		
	柱	(6)上階の主筋本数、径、配置方向	○	
柱	(7)各階止まり、柱頭主筋の止まり高さとの定着状況	○		
	(8)柱仕口部分の帯筋の径、ピッチ	○		
	(9)第一帯筋の位置と柱頭拘束帯筋の有無	○		
	梁	(10)主筋、あばら筋、腹筋、幅止筋の状況	○	
梁	(11)主筋の定着方法、長さ	×	②	
	(12)中吊り筋の位置	○		
	(13)継手の位置と長さ（重ね継手の場合）	○		
	(14)片持ち主筋の位置と定着	○		
	(15)貫通部の位置、補強方法	○		
	(16)ハンチ部分のあばら筋補強	○		
	スラブ	(17)主筋方向、ピッチ、径、スラブ厚	○	
スラブ	(18)定着方法、長さ	○		
	(19)継手の位置と長さ	○		
	(20)片持ちスラブの定着と上端筋位置確保	○		
	(21)隅部、開口部、設備配管に対する補強	○		
	壁	(22)縦筋の定着方法、長さ	○	
壁	(23)壁交差部の縦筋補強	○		
	(24)スリットの位置、施工状況	×	③	
	圧接	(25)ガス圧接継手の形状、位置ずらし	○	
圧接	(26)特殊継手の認定・評定確認	○		

監理者指摘記録等

例) ①：2階梁配筋、かぶりは正指示。 ②基礎梁、定着は正指示。 ③1階壁垂直スリット位置は正指示。 是正指示①、②、③については是正完了を確認。

注)1.「結果」欄には設計図書との照合の結果、適合の場合は○、不適合の場合は×を記入して下さい。
 2.結果が不適合の場合「指摘番号」欄に番号を記載し、「監理者指摘記録等」欄に番号と指摘事項を記載して下さい。